

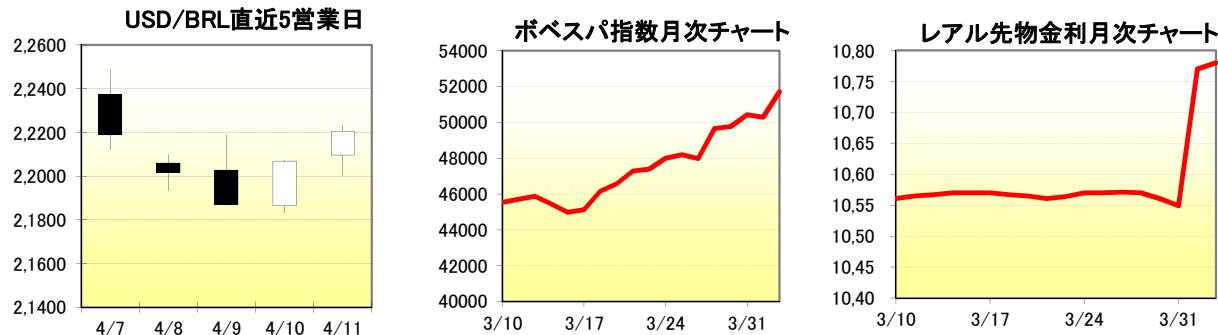
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2170	2,2050	2,1990	2,2030	2,2190	+0,0160
	USD/YEN	Spot	103,05	101,85	101,98	101,53	101,62	+0,0900
	EUR/USD	Spot	1,3741	1,3798	1,3852	1,3888	1,3883	-0,0005
	BRL/YEN	Spot	46,42	46,25	46,48	46,02	45,80	-0,2200
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,03	0,95	0,87	0,90	0,92	+0,0280
		1Year(p.a.)	1,45	1,34	1,25	1,24	1,25	+0,0050
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,94	10,98	11,00	10,95	10,99	+0,0367
		1Year(p.a.)	11,35	11,29	11,35	11,31	11,32	+0,0053
Stock	Bovespa		52.155	51.629	51.185	51.127	51.867	+739,81
Bond	CDS Brazil 5y		163,00	162,00	162,00	157,00	158,00	+1,0000
	Global 40		113,175	113,225	113,200	113,200	113,200	u,c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
なし				なし

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2. 2370 で寄り付いた。
- 週初のレアルは寄付き後売りが優勢となり、直ぐさま週間安値となる U\$1=R\$2. 2490 を付けた。しかし伯インフレ指数が予想を下回ったことや、ブラジル開発銀行が海外で資金調達をすると発表したことが好感されると 2.2200 を上抜け反発した。
- 翌 8 日には PTAX 決定に向けてのレアル買いが見らる中、レアルは 2.1900 から 2.2100 の間で大きく上下した後、伯中銀がインフレ抑制のために利上げではなくて為替を利用するとの思惑が市場で広まると、レアルは 2.1930 まで上昇した。
- 週央にかけては米 FOMC 議事録の発表を控えてレアルは正午に向けてじりじりと反落するも、米 FOMC 議事録が発表されると数人の政策当局者は主要政策金利の予測中央値の上昇が今後見込まれる引き締めペースを過剰に示す恐れがあると指摘した結果、ドルが対主要通貨で大きく下落、レアルは 2.1910 まで急反発した。
- 翌 10 日には COPOM 議事録が発表され、伯中銀による利上げサイクルが一旦終わったとの見方が強まったほか、先週の米新規失業保険申請件数が前週比から減少したことからレアルは 2.21 台後半まで下落するも、直後に週間高値となる U\$1=R\$2. 1830 まで買い戻される展開となつた。
- 週末にかけては米ミシガン大学消費者信頼感が予想を上回ったことからドルが対主要通貨で上昇、レアルはじりじりと反落、結局 U\$1=R\$2. 2190 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧説を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
4/14	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Apr	1.12%	1.29%
4/14	貿易収支(週次)	Apr 13	--	-\$470M
4/14	登録雇用創出合計	Mar	145000	260823
4/15	小売売上高(前月比)	Feb	0.0%	0.4%
4/15	小売売上高(前年比)	Feb	7.1%	6.2%
4/15	広義小売売上高(前年比)	Feb	5.5%	3.5%
4/15	CNI産業信頼感	Apr	--	52.5
4/16	IGP-M Inflation 2nd Preview	Apr	0.80%	1.41%
4/16	FGV CPI IPC-S	Apr 15	0.92%	0.96%
4/16	経済活動(前月比)	Feb	0.20%	1.26%
4/16	経済活動(前年比)	Feb	3.80%	0.93%
4/16	Currency Flows Weekly			
4/17	FIPE CPI-週次	Apr 15	0.70%	0.73%
4/17	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Apr	0.85%	0.73%
4/17	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Apr	6.26%	5.90%
4/17	失業率	Mar	5.4%	5.1%
4/17	税収	Mar	--	83137M

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：2.18—2.23

今週は米 FOMC 議事録や COPOM 議事録を控える中、ブラジル開発銀行が海外で資金調達を実施するとの報道があり、ブラジル及びブラジル企業による海外での資金調達の需要が強いとの見方が強まった結果、レアルは昨年 10 月末の水準となる 2.18 台前半まで買い戻された。COPOM 議事録では利上げサイクルが一旦終了したとの見方が強まり、先週のレポートで挙げた政策金利を上げずにインフレに対応する方法としてある程度のレアル高を維持しようとしているのではないかと市場での疑惑が更に強まった。レアル高だけを利用してインフレを抑制することができるかは疑問が残るが、これからのインフレ指数に注目が集まるだろう。来週は国内では失業率や小売売上高、海外では米消費者物価指数が注目される。